



政治のホンマを伝えるチラシ

# 月刊レオナンドス通信

www.nakanishireo.com/

平成25年10~12月号

発行:中西レオ応援団

## 「地酒乾杯条例」

### すんなり可決

京都市で始まったいわゆる「地酒乾杯条例」について明石の商工会議所と酒造組合から議会に要望があり、それを受けた7会派から提案され、賛成26反対3で可決されました。

#### 条例にすることなのか

これは推進条例であり罰則もないとはいえ、市として条例化する必要があるのでしょうか。私は日本酒をこよなく愛しておりますし、地酒ファンが増えることも望んでおります。しかし、条例を制定することでその目的が達せられるのでしょうか。提案議員からも「理念条例である」「啓蒙のため」と発言があり、内容

は「日本酒月間」や「標語」で十分な内容でした。

#### 本当に効果があるのか？

この趣旨の条例は流行のようにならないうに次々と制定されています。先駆者の京都市でも今年の1月施行、加東市・三木市は6月施行、西宮市は10月施行であり、実績は検証されていません。最初は「条例もできまじし地酒で乾杯しましょう」となるでしょうが、長続きするのでしょうか。

#### 地酒を応援するには

市による支援策としては、乾杯用の日本酒カクテル開発や、二度目の乾杯や締め乾杯など文化の創造を支援してはどうでしょうか。また、他の伝統産業も市にとって重要です。日本酒以外にも含む伝統産業全体についての振興を目的とする条例が必要です。

## 指定ごみ袋を阻止したい



賛成：政和会、公明党、真誠会、市民クラブ、日本共産党、民主連合、日本創新党明石  
反対：次世代明石(中西、木下、新田)  
(議長は採決不参加)

#### 平成27年度に導入？

明石市の基本計画では平成27年度に指定袋制を導入とあります。導入の理由は、ごみの減量や分別を推進するためであり、ごみ減量や分別ができれば指定袋にする必要がなくなりそうです。

平成32年度に24年度より14%減らせば指定ごみ袋を導入せずに済みます。しかし、市は反発を恐れてか、事前に十分な公表をしてきませんでした。早く市民と目標を共有し、努力を求めると同時に集団回収などリサイクルへの支援を手厚くしましょう。

#### 収集の現状

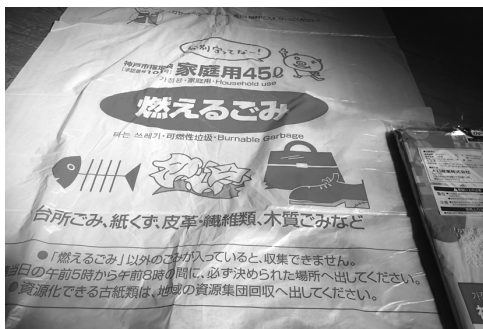
現在は青い半透明なごみ袋に入れて捨てるルールですが徹底できていま

#### 指定袋は有料化？

せん。知らずにスーパーの袋や黒い袋で捨てる人もいますし、市はそれを回収しているのも現実です。指定袋にしたところで、徹底できなければ意味がありません。まずは現在のルールとマナーの徹底が先でしょう。

指定袋：市が決めた規格の袋を民間が販売するもの。競争により市場で価格が決まる。一般的に現在の袋と大差ない価格。参考のために購入した神戸市の袋は30枚で279円でした。

有料化：ごみ袋代にごみ処理代を上乗せして市が販売する。45リットルで30円〜50円など幅広い。



明石市議会議員

## 中西レオの活動報告